

横浜が目指す教育の姿

「横浜教育ビジョン」に掲げる教育の使命

- 子どもたちの確かな学力と豊かな心、健やかな体を育むことで、人格の完成を目指し、社会を担う者としての資質を身に付けた「市民」を育成すること。
- 先人が築き上げたものを大切にしつつ新たな挑戦をしていく姿勢、自らが幸せに生きるとともに他者の幸せにも寄与しようとする姿勢を育むこと。



横浜が目指す「人づくり」

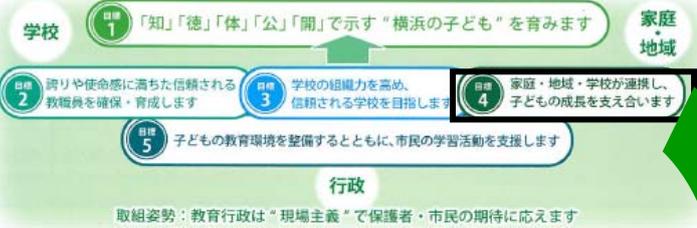
学校・家庭・地域が連携して、3つの基本（知・徳・体）の調和がとれ、2つの横浜らしさ（公・開）を身に付けた、「横浜の子ども」を育んでいきます。

“横浜の子ども”

- 知 確かな学力**
基礎・基本の定着とともに、それまでに学んだことを活用して課題を解決する力や自ら進んで学習する態度を身に付けます
- 徳 豊かな心**
豊かな体験を通して感動する心を大切にするとともに、礼儀や規律を重んじ、人格や生命を尊重して行動します
- 体 健やかな体**
健康で安全な生活を心がけるとともに、運動に親しみ、自らの健やかな体をつくります
- 公 公共心と社会参画意識**
横浜を愛し、公共の精神を尊び、積極的に社会に関わり、貢献します
- 開 国際社会に寄与する開かれた心**
日本の伝統や文化を尊重しながら、国際社会の発展に貢献します

2 「5つの目標」

「横浜市教育振興基本計画」では、「5つの目標」と「取組姿勢」に沿って14の重点施策を進めています。（重点施策については中面を参照）



横浜市教育振興基本計画
平成23年1月策定
平成26年度末までに実現する教育施策や取組をまとめたもの

目標4 家庭・地域・学校が連携し、子どもの成長を支え合います

重点施策11 家庭教育の支援

- 親の学び・家庭教育の支援
家庭教育を充実させるため、PTAなどによる親の学びのための学習会の開催や、おやじの会による親子ふれあい事業の開催を支援します。

重点施策12 地域と学校との連携

- 学校運営協議会の推進
「学校運営協議会」の設置を促進します。保護者や地域の方々のニーズを反映し、学校運営に対する理解や協力を得ながら特色ある教育活動を進めます。（新規30校、合計80校）
- 学校・地域連携推進事業【拡充】
地域の方々などが学校を支援できる仕組みづくりを進めるため、学校と地域のパイプ役を担う「学校・地域コーディネーター」を養成し、地域ボランティア

の活動を支援します。また、安心して活動ができるよう新たにボランティア保険に加入します。



- 地域交流室の設置
地域とともに進める学校づくりを推進するために、学校と地域の方々などが連携し交流を進める場として「地域交流室」の設置を進めます。



主な取組

学校運営協議会のより一層の内容の充実と拡大（平成26年度末までに120校に設置）



設置校合同の説明会、情報交流会、設置校取組発表など、年3回の会議を開催。



ガイドブックの活用
担当指導主事が学校を訪問し
ニーズに合わせて説明



HPや学校運営協議会ニュース、CS研究校作成パンフレット等の活用

成果と課題

◎ この4年で学校運営協議会設置校が増加した(65校)。地域とともに進める学校づくりが市全体として着実に推進できている。今後も積極的な設置推進を進めていく。

▲設置校の運営状況の把握とともに、内容の充実に向け、様々な支援を展開していく。